



こんにちは 豊前市議会です

No.89
平成27年9月

6月定例会(6/15~7/2)主な内容

目次 CONTENTS

議案の概要	2P
平成27年6月定例会、臨時会 議案審議結果	3P
一般質問	4~12P
健康講演会、委員会視察レポート	13P
トピックス・編集後記	14P

臨時議会での多数の傍聴、ありがとうございました。
また、健康講演会に多数の参加、ありがとうございました。



5月9日開催の臨時議会の様子

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311
ホームページ/http://www.city.buzen.lg.jp



議案の概要

第2回臨時会

●父親が豊前市出身のジョージ・アリオシ元ハワイ州知事が市制施行60周年記念式典で講演を行うため豊前市を訪れました。豊前市議会では、アリオシ氏の来豊を歓迎するため5月9日に第2回臨時議会を開催しました。

臨時会では約60人が傍聴する中、登壇したアリオシ氏は「今朝、豊前市に来て



臨時議会にてこやかに語るアリオシ氏（手前右）
（手前左はジーン夫人）

大勢の方から温かい歓迎を受け、とてもうれしい。父が生まれ、学んだ豊前市に感謝しており、皆さんの顔には、この自然豊かな豊前を愛し、もっと良くしようという気持ちが表れている」と語りかけました。
また、アリオシ氏は1955年にジーン夫人と結婚したことも触れ、「私も豊前市と同じで結婚60周年です」と語り、議場内の笑いを誘いました。

第3回定例会

●平成27年第3回定例会は、6月15日から7月2日までの18日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より条例5件、予算1件、その他の案件2件合わせて8議案が提案され、所管の常任委員会でも慎重に審査し、いずれも原案どおり可決されました。

議員より会議規則の一部改正及び意見書案1件が提案されましたが、いずれも原案どおり可決されました。
また、市長より教育長の任命と公平委員及び固定資産評価審査委員の選任案が出され、市長提案のとおり同意されました。

同意案件

市長の提案に対し、全会一致で同意しました。

■教育長（敬称略）
豊前市大字八屋 戸田 章（任期3年）

■公平委員（任期4年）
豊前市大字松江 鳥飼 香

■固定資産評価審査委員（任期3年）
豊前市大字三毛門 佐山 彰

新「教育長」の任命に同意

昨年6月に法律が改正され、教育委員会制度が大幅に見直されました。

今までは、教育委員会を代表する教育委員長（非常勤）と教育行政のトップである教育長（常勤）がいて、いずれも教育委員の中から選ばれており、責任の所在が不明確でした。

今回の改正により教育委員長のポストを廃止し、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」のポストが新設され、市長が任命することで責任の所在を明確にしました。そのため市長の任期中、少なくとも1回は自らが教育長を任命できるように、任期は3年となりました。

第4回臨時会

●平成27年第4回臨時会は、7月22日に開催されました。本臨時会には、7月末をもって退任する後小路一雄副市長の後任に、現職議員の榎本憲氏を選任する人事案が市長より提案され、同意されました。任期は4年です。

なお、副市長就任に伴い、榎本議員より監査委員及び一部事務組合議会議員の辞職届が出され、左記の議員が同意選出されました。それぞれの任期は、議員在職期間です。

同意案件

市長からの提案に対し、同意しました。（敬称略）

■副市長
豊前市大字堀立 榎本 義憲

■監査委員（議会選出）
豊前市大字三毛門 鈴木 正博

選挙関係

指名推薦により選出しました。（敬称略）

■京築広域市町村圏事務組合議会議員
豊前市大字千束 安江 千賀夫

■豊前広域環境施設組合議会議員
豊前市大字篠瀬 岡本 清靖

平成27年6月定例会 議案審議結果

「○」…………… 賛成 「●」…………… 反対
 「議長」……… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	黒江哲文	平田精一	安江千賀夫	鈴木正博	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	榎本義憲	尾澤満治	山崎廣美	爪丸裕和	宮田精一	磯永優二	渡邊一	秋成茂信	賛成	反対
議案第40号	豊前市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	13	0
議案第41号	豊前市特別職退職手当支給条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	13	0
議案第42号	豊前市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	13	0
議案第43号	専決処分について（豊前市税条例等の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	欠席	12	1
議案第44号	専決処分について（豊前市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	欠席	12	1
議案第45号	指定管理者の指定について（総合交流促進施設）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	13	0
議案第46号	吉富町外一市中学校組合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	13	0
議案第47号	専決処分について（平成27年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 第1号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	欠席	12	1
議案第65号	豊前市議会会議規則の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	13	0
意見書案第1号	「協同労働の協同組合法」（仮称）の速やかな制定を求める意見書（案）の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	13	0
同意案第3号	豊前市教育委員会教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	13	0
同意案第4号	豊前市公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	13	0
同意案第5号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	13	0

平成27年7月臨時会 議案審議結果

「○」…………… 賛成 「●」…………… 反対
 「除斥」……… 当事者のため退席
 「議長」……… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	黒江哲文	平田精一	安江千賀夫	鈴木正博	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	榎本義憲	尾澤満治	山崎廣美	爪丸裕和	宮田精一	磯永優二	渡邊一	秋成茂信	賛成	反対
同意案第6号	豊前市副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	退席	議長	○	欠席	11	0
同意案第7号	豊前市監査委員の選任について	同意	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『豊明会』の一般質問



鈴木 正博



平田 精一



黒江 哲文

【質問項目】

- ① 市民協働のまちづくりと行政業務の連携
- ② 公設民営化
- ③ 特別支援教育
- ④ 田園風景を孫の時代に
- ⑤ 教育問題
- ⑥ 観光問題
- ⑦ 空き家バンク事業
- ⑧ 買い物難民問題

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

市民対応業務に向けた市の体制づくりを

黒江議員 市民の声を行政に反映させるには、目安箱による投稿や区長による陳情・要望等がある。しかし、それらの問題を各課が独自に対応しているためバラバラのように感じる。それらを総合的・全庁的に改善すべき時は、どのような対応をしているのか伺いたい。

総務課長 担当課だけで解決できない複数課にまたがる事案については、企画調整会議で対応している。

黒江議員 そこで、これらの市民対応業務を一元化することで効率化が図れると思う。豊前市では生活環境課に市民相談窓口を設けているが兼務である。市民サービス向上のため、要望等の一括管理、ワンストップ化を図ってはいかがか。

総務課長 目安箱や要望

等に対しては二元化や即時対応が理想的である。さらに研究を重ね、市民相談窓口の充実を図っていきたいと考えている。

黒江議員 区長や我々議員には市民と行政の調整役・パイプ役という役割がある。庁内にもパイプ役となるような担当課を設けることで対応業務の効率化が図れると思うが、市長の考えを伺いたい。

市長 市民相談窓口だけで年間約1300件の相談があり、それに教育や福祉等の相談を含めるとかなりの数になる。今の豊前市にそのような担当課設置

は難しい状況にあると認識している。しかし、要望対応は市民サービス向上のため重要なので、スピードアップに向け研究していきたい。

黒江議員 また、市政運営では幅広い業務、そして各課にまたがる事業などがあり、総合的な管理をする上でも、部長制を実施してはと思うがいかがか。

総務課長 部長制については、うまく機能しなければ組織の複雑化や意思決定の遅延等が起こる。そのため、県内でも部長制を廃止している自治体もあると聞く。

黒江議員 市民対応業務は市政運営上、大変重要な業務だ。そのためにもワンストップ化や機構改革等により職員が一丸となれる体制づくりをお願いしたい。



公設民営化するには 慎重な対応を

鈴木議員 市が設置した施設は市が責任を持って経営する。それが市町村の責任だと考えている。しかし、現実的には市が運営するには多くのコストを必要とし、豊前市の財政には厳しいものがある。そこで前市長は公設民営化を推進していたと思うが、現市長の考えを伺いたい。

市長 市が持つ公的施設を民間の人に運営を委託する公設民営化は、地域の持つ力を取り込み、活躍の場を造るという意味で大変重要だと思う。なので、私も前市長の流れを引き継いでいきたいと

考えている。

鈴木議員 そこで、ごみの収集業務に関して以前から民間委託との話があったと思う。一度民間委託を始める次元に戻すことは大変難しい。もし民間委託するのであれば、担当課は先進地を視察するなどして慎重な検討をお願いしたい。

生活環境課長 ごみ収集業務は市民に直結した業務である。民間委託により業務縮小ではなく、今まで以上のものとなるよう慎重に協議を進めたいと考えている。

鈴木議員 次に、学校給食について豊前市は各小中学校に職員を配置し実施してきたが、近年、民間委託を検討中と聞く。

鈴木議員 次に、学校給食について豊前市は各小中学校に職員を配置し実施してきたが、近年、民間委託を検討中と聞く。



安心・安全な食を提供するために慎重に議論すべきと思うが、執行部の考えを伺いたい。

学校教育課長 学校給食の調理業務については、正規職員の退職に伴い臨時職員への切替えを実施し、経費節減を図ってきた。しかし、これ以上の臨時職員化は困難な状況となってきたため、来年度からの中学校給食の民間委託を検討中だ。

鈴木議員 豊前市の学校給食では問題があったと聞かないが、全国ではアレルギーやO-157、異物混入などの問題が発生している。そのような問題も含めて慎重な対応をお願いしたい。

鈴木議員 豊前市の学校給食では問題があったと聞かないが、全国ではアレルギーやO-157、異物混入などの問題が発生している。そのような問題も含めて慎重な対応をお願いしたい。

中学生に対する 指導の充実を

平田議員 川崎市の中学生殺害や、愛知県での強制的遊泳による溺死など、中学生に関する事件が発生している。これらには、スマートフォンなどのアプリであるラインなどが大きく関与しているようだ。

そこで、学校現場でスマートフォン等の使用に関する指導をどのようにしているのか伺いたい。

学校教育課長 スマートフォン等の電子機器は、使い方によっては非常に危険なツールとなることもあり、情報モラル教育の充実が求められている。そこで学校では、総合的学習や道徳の時間に情報モラル向上のための教育を行っている。また、併せて指導する教員に対しても研修を行っている。

平田議員 中学生に対する悲惨な事件が起こっているが、市では人権を守る

教育をどのようにしているのか伺いたい。

学校教育課長 すべての学校において、一人ひとりはかけがえのない存在だと言うことを教えて、人権意識の高揚を図っている。

平田議員 次に、自転車の運転マナーに関して、道交法が改正され危険運転には罰金が課せられるようになった。また、高額な賠償金を請求されるような事故が相次いで発生している。そこで、学校では自転車の乗り方に関する指

導を行っているのかお聞きしたい。

導を行っているのかお聞きしたい。

学校教育課長 各小中学校では、子どもたちを交通事故から守るという意味も含めて、年間指導計画に基づき交通安全教室を実施している。

平田議員 今では自転車も車と同様に事故を起こせば加害者になる時代だ。各自治体では自転車保険加入の普及に取り組んでいるようだが、豊前市の状況を伺いたい。

学校教育課長 その件については教育委員会でも議論したことがないので今後、議論をしていこうと思う。また、各学校とも十分な意見交換をしていきたいと考えている。

平成27年
6月1日
から
改正道路交通法の施行に伴い
自転車運転中に
危険なルール違反
をくり返すと
自転車運転者講習
を受けること
になります。

私はいつも「ルール」と「マナー」を守っている

講習の対象となる危険行為とは…

- 一時停止
- 一時停止
- 一時停止
- 一時停止

講習料の支払い

講習料の支払い

講習料の支払い

講習料の支払い

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『同志会』の一般質問



渡邊 一



爪丸 裕和



福井 昌文

【質問項目】

- ① 定住促進
- ② 地方創生事業
- ③ 教育問題
- ④ 観光事業
- ⑤ 防災事業
- ⑥ 行財政改革

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご覧ください。

A判対応の

学習机に

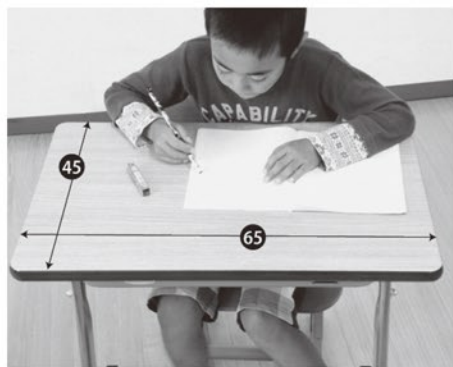
福井議員 現在は教科書やノートなど、殆どがB5判からA4判に変わっている。しかし、学習機のサイズは昔のままであるようだ。計画的にA4判対応の机に移行していくべきではないか。

学校教育課長 質問の件については学校現場からも要望などがなく、全くなが付きなかつた。指摘をうけ当然の課題だと認識をした。近隣の状況がどうか、学校現場でどういふ不自由、課題があるのか精査し、今後の課題として取り組みたい。

福井議員 新学習指導要領の実施にともない、授業時間数が増え、各自治体ではゆとりを持った授業時間の確保のため、いろいろな取り組みを行なっているようだ。まず豊前市の状況を伺いたい。
学校教育課長 小中学校

においては昨年度の実施時数を見る限りでは、標準時間を十分に上回る結果となっている。

福井議員 今回学力テストの結果が公表になったが、豊前市は小中学校ともに、全国平均、県平均を下回っている。学力テストだけで一概に判断できないが、ひとつの目安である。福岡市が小中学校の夏休みの短縮を打ち出したが、このような取り組みについての考えを



A判（新JIS規格）対応の学習机

伺いたい。
教育長 ひとつの方法であると思うが、反対に言えば、夏休みに家庭と子どもたちが一緒に何かができるという良い機会でもある。今回のテストの結果については、規範意識の欠如という問題が大きく表面に出たのではないかと考えている。今後は、小中連携し共通した規範意識を育てていく方向である。少し時間がかかるかも分らないが、必ずや他市に負けないような結果が出てくると確信している。
福井議員 豊前市に生まれ育った子どもたちに明るい未来が来るように、努力をお願いする。

行財政改革は達成できたのか

爪丸議員 平成18年に行財政改革の大綱、平成23年に推進プランを出した。そして平成26年度が期限とされているが、目標数値への達成度に関して質問する。まず職員の削減について伺いたい。

総務課長 平成27年4月1日時点で215人という目標を掲げて取り組み、平成25年4月1日に達成した。今年の4月1日時点で218人となっており、平成17年から比較すると42人の削減で削減率は16・2%となっている。

爪丸議員 今後は、今の体制をどうするのか市長

の考えを伺いたい。

市長 多様化した市民ニーズに応えていくために、今後どのような行政改革をするのか、適正な配置はどうするのか、しっかり検討していかなければならぬと考えている。

爪丸議員 次に指定管理者制度についてであるが、豊前市立図書館は入館者の状況を見ても、運営の経費の面から見ても、

成功事例とは言えないのではないか。今年度で指定管理期間が終わるので、来年度は市が直営としたほうが良いと思うが、執行部の考えを伺いたい。

市長 豊前市にどんな図

書館が求められているのか、チェックしなければならぬと思う。「図書館に行けばいろいろなチャンスがある」「図書館を通して多様に学ぶことができ

る」など、いろいろな要望があると思う。そういうものをしっかりと見据えた上で、どういうサービスをすれば良いのか、図書館の在り方も含め検討していきたい。

爪丸議員 幅広い分野で検討していただきたい。厳しい局面であるが、無駄を省くということに視点を置き、行財政改革にしっかりと取り組んでいただきたい。

市長 豊前市にどんな図



豊前市立図書館

河川の防災対策を

しっかりと

渡邊議員 災害について、特にこれから異常気象による豪雨、水の問題が一番心配となる。河川の防災対策について伺いたい。

建設課長 市営河川である鈴子川の浚渫をし、葦などの撤去の計画を立て順次行なっているところである。

渡邊議員 確かに鈴子川はその効果がでている。

浚渫し手直しをしたので、その後国道10号線が水没したことはない。また家屋に浸水したという事件もない。なので、河川の流量の変化というのは、

災害に大きな影響があると思う。それだけに、経済川や中川は修復すべきではないかと気になる。県からの話を待つのではなく市から積極的に要望

してもいいと思うが、執行部の考えをお聞きしたい。

建設課長 中川については、特に能徳工業団地のアンダーパスに関係しているところがあり、水が溢れないよう県に要望し、浚渫してもらったところである。今後も佐井川、角田川なども葦が生え環境が悪くなっているところもあるので、県に浚渫などの要望をしていきたいと考えている。

渡邊議員 先手先手でこの地域のことを真剣に考えて取り組んでもらいたいと思う。



大雨により鈴子川が氾濫し、水没した国道10号線の様子(平成24年)



鈴子川の浚渫作業の様子

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『豊翔会』の一般質問



安江 千賀夫



岡本 清靖



尾澤 満治

【質問項目】

- ① 豊前市の将来の在り方
- ② 観光振興
- ③ 市制60周年事業
- ④ 「資源とごみ」の回収体制
- ⑤ 求菩提地区の活性化
- ⑥ 平池と向原池の水質保全
- ⑦ 豊前市の観光振興
- ⑧ 能徳総合運動公園の利用度と管理

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

人口減少時代の 対策について

尾澤議員 増田レポートの「自治体消滅」論は各地に衝撃を与えた。豊前市の人口は6月19日現在で約2万6700人であるが、将来人口はどのように推計されるか伺いたい。

尾澤議員 増田レポートに載っているが、核家族化し世帯数は増えている。このままでは空き家が増えるのではないかと危惧されるが、これについてどのように考えているか。

尾澤議員 人口対策としてどのような施策をしていくか伺いたい。

尾澤議員 現在でも約600軒の空き家がある。これをどう活用していくか、また増えないようにどう対策していくか、十分に検討しなければならぬ。

尾澤議員 人口対策としてどのような施策をしていくか伺いたい。

尾澤議員 現在でも約600軒の空き家がある。これをどう活用していくか、また増えないようにどう対策していくか、十分に検討しなければならぬ。



尾澤議員 空き家になる前の対策が重要である。核家族化により、ローンの返済などゆとりのない生活設計を送っているように見受けられる。昔のように3世代、4世代が同居することにより、ゆつたりとした生活をする。また、子どもの教育にとっても素晴らしいものが得られると思う。そういう政策を検討していただきたい。

尾澤議員 先進地の事例を参考にしながら、今後行政だけでなく、民間の機関等にも協力を頂きながら、対策を考えていきたい。

祝日でも 生ごみの回収を

か伺いたい。
生活環境課長 月曜日が祝日の振替休日となる関係で、山側地区の方にはご迷惑を掛けている状況である。

安江議員 回収できない日が、今年度は海側が2回、山側が5回ある。日本の気候は亜熱帯性気候に近づいており、住宅構造も非常に機密性が高く、冬場はストーブを焚き、夏場と変わらないような状況である。そのなかで、1週間生ごみを家庭に置くことに、市民が非常に困っている。行政サービスは公平でなくてはなら

ない。この乖離について解消する努力をしていただきたいかがか。
生活環境課長 長年身に付いた収集日を変えるのは難しいと思うので、清掃センターを祝日でも開けてもらうことが一番ではないかと考える。清掃施設組合と一緒に運営している吉富町、上毛町にもお願いし、一日でも多く開けられるように努力したい。

安江議員 市民が大変困っている問題なので、少しでも解決する方向で特段の努力をお願いしたい。

生活環境課長 可燃ごみの収集は、八屋、宇島地区が火曜日と金曜日、それ以外の地区が月曜日と木曜日の週2回である。
安江議員 八屋、宇島地区を海側、それ以外の地区を山側とすると、可燃ごみの収集日が祝日にあたり、回収できない日が、山側と海側でかなり乖離が生じている。これをどのように認識しているの

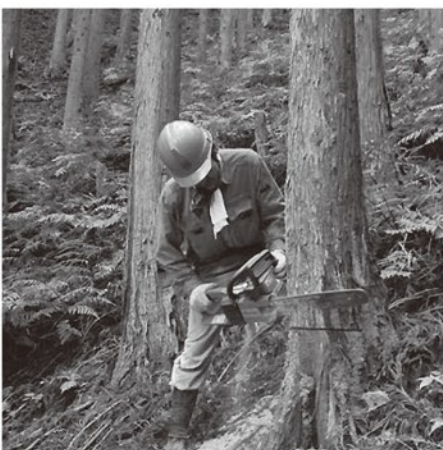


荒廃した森林を 蘇らせ次世代へ

岡本議員 森林の維持管理について、現状を伺いたい。

農林水産課長 福岡県では、長期間放置されたスギ、ヒノキ林の手入れをし、健全な状態で次世代へ引き継ぐことを目的に、平成20年度に森林環境税が導入された。荒廃森林と認められた面積727haのうち、間伐等の施策を実施したのが477.73haであり、進捗率は約65.7%である。事業費の総額は2億3323万2030円である。今後20年間、維持管理を行なうという協定を締結した上での施策実績である。

岡本議員 平成29年度で今の事業が打ち切られると聞いたが、それまでに施策が終わるのか伺いたい。
農林水産課長 認定を受



けている727haのうち、協定を締結しているのが521haである。現在、未協定の山林206haについて、今後協定を交わせるよう、鋭意努力をしていきたい。
岡本議員 森林の保全管理等の取り組みに対して、多面的機能発揮対策交付金というものがあるが、活用しているか伺いたい。
農林水産課長 実施可能な地区については推進を図り、交付金を活用して

いきたい。
岡本議員 今は親が子どもに相続しようと思っても、山は要らないという人が大半であると思う。子どもが市外に出て、ほったらかしになっている山が沢山ある。そのなかで、森林環境税が使われ、荒廃した森林が蘇ろうとしていることは大変嬉しいことである。皆さんが納めた税金を使い、山を手入れしてもらったということは、次世代にも伝えていかなければならないと思う。観光客にも、この地域の山林は良く手入れが出来ていますね、と言ってもらえるような地域づくりをしていただきたい。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『新世豊友会』の一般質問



磯永 優二



秋成 茂信



山崎 廣美



榎本 義憲



鎌田 晃二

【質問項目】

- ① 豊前市一次産業 農業振興
- ② 豊前市一次産業 漁業振興
- ③ ふるさと納税
- ④ 生活困窮者自立支援
- ⑤ 障がい者支援
- ⑥ 高齢者の緊急通報システム
- ⑦ 住民サービス
- ⑧ 人口減対策
- ⑨ 観光事業
- ⑩ ボランティア活動の支援

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

PRをうまくやり漁業振興を

山崎議員 豊前市の漁業の現状について伺いたい。

農林水産課長 豊前海は瀬戸内海西部で、遠浅の漁場である。小型底引きや定置網、カゴ漁等の漁船漁業が主流である。主要な漁獲物は、エビ・貝・ガザミ類、ベタ、コチ、ハモなどだが、温暖化等の影響による海洋環境の変化や赤潮、貧酸素水塊の発生によって、漁獲量は減少傾向である。漁業従事者の平均年齢は約64歳と高齢化も進んでいる。加工グループは2つで、道の駅やふれあい市場で弁当や総菜などを販売している。

山崎議員 現状を踏まえ、漁業振興をどのように考えているのか。また、これからの対策について伺いたい。

農林水産課長 今後の対策として市場や浜売りな

習する場を作りたい。また、栽培漁業でクルマエビ・ヨシエビ・ガザミ・カキ・アサリの振興に努めたい。

山崎議員 水産振興施設建設の計画があるが、これからの海・漁業の振興のためにも必要だと思う。この施設が成功するためにも、計画を十分に練って、漁業が安定し、若い人が漁業をしたいと思えるような魅力あふれる振興策を考えてほしい。

市長 漁業者が経営できる環境を作り、豊前海の幸、420種類と言われる魚介類を、どのようにうまく見せて、食べさせて、売って、という部分を、先頭を切ってしっかりと取り組んでいきたい。



早急に、生活困窮者の自立支援を

業務委託などにより市民が相談しやすい窓口を今年度中には整備したい。

鎌田議員 窓口を設置したら工夫して市民に周知してほしい。設置後はいろんな部署で多重債務の相談、情報をキャッチして

たら窓口で紹介対応していく野洲方式で、早期発見・早期支援に取り組んでほしい。また、相談後の出口戦略の任意事業が非常に大事である。課長の決意ひとつで困窮者を救えるかどうかにかかっている。具体的な構想があるか伺いたい。

福祉課長 しっかりとした対策を取るといえるのは、行政としての責任だと思われ、体制を作るのは課長の責任であると認識し

ている。また、既存の若者サポートステーション、ハローワーク、地域職業訓練センター、法テラス、グリーンコープの生活再生事業等と連携・橋渡しし、課題解決に努めたい。

鎌田議員 生活困窮者自立支援制度は4月に施行され豊前市は今から取り組むわけだが、市長に取組みの決意を伺いたい。

市長 生活困窮者へ自立支援をするのは行政の責務である。既存の機能・施設が十分に活用されているか。市の行政、地域の力が本当に機能的に連絡を取り合っているのか、体制が取れているのか、十分に検証しながら、スタートしていきたい。

鎌田議員 今年4月から生活困窮者自立支援制度がスタートした。この制度は、制度の狭間におかれてきた人々に寄り添い包括的な支援を届ける仕組みである。現在、約半分の900の自治体において相談窓口を設置している。本市はまだ設置されていないようだが、予定をお聞きしたい。

福祉課長 現在、福祉課の保護系の職員が業務を兼務し、相談支援の対応を行っている。今後は、

生活困窮者自立支援制度の主な事業

自治体に義務付け

- 生活や就労に関する相談窓口を設置
- 離職で住まいを失った人に家賃相当の「住居確保給付金」を支給

自治体が任意実施

- 就労に向けた訓練
- ホームレスらに宿泊場所や衣食を提供
- 家計に関する相談や指導
- 困窮家庭の子どもへの学習支援

職員一丸となり

観光行政の推進を

榎本議員 魅力がなければ誰も来ない、働き口がなければ誰も取り組まない、そのため地域の発展もない。豊前市の行政の責任は極めて重いと考える。その解決策として観光協会設立は重要である。そこでお尋ねしたい。従前よりコンパクトシティ、黒田官兵衛の豊前ゆかりの地プロジェクト、土産品等の計画書を策定しているが、庁内全体で準備委員会設立に向け十分協議したのか伺いたい。

まちづくり課長 市と商工会議所で連携している商工観光振興連絡協議会の中で、約2年近く設立に向け協議をした。また、庁内では総務・財務・総合政策・農林水産・まちづくり課で協議してきた。

榎本議員 地域協力隊員や、豊前市の観光といえ

ば求菩提山であるので教

育委員会等を含めて協議したのか伺いたい。

まちづくり課長 どちらも協議をしていない。

榎本議員 庁内全体で協議しなかったことを大きく反省し、今後の観光行政に役立ててほしい。また、今回の準備委員会は観光協会の設立の提言の取りまとめを急ぐあまり、委員の意見が十分に反映されず事業推進において感情のもつれが生じているのではないかと。再度、設立準備委員会委員に委嘱とお詫びの文書を持参

し、会議への参加の呼び掛けと再協議をお願いしてはどうか。また、メンバー構成については幅広い意見を聞くためにも足りなかった分をプラスし、事業推進を行ってほしい。市長の考えを伺いたい。

市長 市を挙げての観光振興戦略がなかったのではと反省している。準備委員会の皆様にお詫びをしてご理解をいただき、共通する豊前観光の目標を設定し、早急に観光協会を立ち上げるべく頑張っていきたい。

榎本議員 体験型農林業の推進や、総合政策課を中心に全庁を挙げて「これが豊前の土産だ」というものを是非作ってほしい。



一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無党派』の一般質問



宮田 精一

【質問項目】

- ① 戦争法制（安保法制）についての市長の見解
- ② 国保問題
- ③ 教育行政
- ④ マイナンバー制

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておきますので、お気軽にご閲覧ください。

小中一貫校にする メリットは

宮田議員 先の3月議会の中で、角田小学校と角田中学校を小中一貫校とする答申が出たとの報告があった。これを受けての市の考え方及び方向性を伺いたい。

学校教育課長 角田地区については、小・中学校がそれぞれ1校であり、この3年間、防災教育を小中連携で取り組んできたことなどから、通学区域審議会で一貫校がよいとの答申が出された。なお今後は市長及び教育長、教育委員による総合教育会議の中で方向性を議論したいと考えている。

宮田議員 今回答申を出した通学審議会のメンバーには角田地区の人が一人も入っていない。その中で、このような大きなことを決めて良いのかお聞きしたい。

学校教育課長 この審議

校が3つ4つのタイプとあり、一体性が高いほど効果が出ているとの結果だ。

宮田議員 このような問題は地元の意見が非常に重要だ。特に地元の小中学生や保育園・幼稚園の保護者の意見が重要と思うが、執行部の考えを伺いたい。

学校教育課長 今回はあくまで審議会の委員が出した答申である。今後、このことを進めるにあたっては当然、地元の意向を尊重しながら進めていきたいと考えている。

宮田議員 この問題に関して私はデメリットの方が多いと認識している。そのため執行部はメリット・デメリットを十分精査し、この問題に取り組んでいただきたい。

中学校の適正規模等について

豊前市立学校通学区域審議会
平成27年2月

通学区域審議会からの答申

豊前市議会主催の

健康講演会を開催しました!!

6月13日に豊前市議会主催の健康講演会を市総合福祉センターで開催。医学博士で参議院議員の秋野公造氏が「胃がんは『ピロリ菌除菌』でなくせる」と「口腔ケアを」テーマに講演を実施しました。当日は、約180人が参加し、立ち見が出るほどの大盛況でした。

秋野氏は長崎大学医学部を卒業し、厚生労働省の課長補佐などを歴任。医師として胃がんの撲滅に取り組んでいる。

秋野氏は講演で、ピロリ菌に感染している人の方が胃がんになりやすいことをデータに基づいて説明。ピロリ菌検査については、内視鏡を使わず、血液や便、尿素呼気で調べられる方法を紹介。また、「ピロリ菌除菌の保険の適用範囲が広がり、日本では胃がんを予防できる時代になった」と語り、豊前市が4月から導入したピロリ菌の有無を調べる「ABC検査」を奨励、ピロリ菌除菌を参加者に勧めました。



講演を行う秋野参議院議員



立ち見が出るほどの講演会場の様子

議会を傍聴しましょう!!

市議会の様子を知る最もよい方法です。
多数の方の傍聴をお待ちしています。

9月議会日程表 (予定)

日時	会議
9月3日(木)	本会議(議案上程など)
9月4日~9日	休会
9月10日(木)	本会議(一般質問)
9月11日(金)	本会議(一般質問)
9月14日(月)	本会議(一般質問)
9月15日(火)	常任委員会
9月16日(水)	常任委員会
9月17日(木)	常任委員会
9月18日(金)	常任委員会
9月24日(木)	常任委員会
9月25日(金)	常任委員会
9月28日(月)	予備日
9月29日(火)	本会議(採決など)

※議会日程については、変更になる場合がありますのでご了承ください。

3常任委員会で視察

7月14日~16日に総務・文教厚生・産業建設の3常任委員会の委員は富山県黒部市と観光庁等で研修を実施しました。

黒部市では「魚の駅・生地」で視察研修を行いました。「魚の駅・生地」は豊前市が現在、建設を予定している水産振興施設と同じような建物で、建設費用や運営状況等について説明を受け、意見交換を行いました。

また、観光庁では「観光地域づくりに向けた取組」について説明を受け、今後の豊前市の観光への取組等に関して意見交換を実施しました。



黒部市での研修の様子

副市長に榎本義憲議員が就任

7月22日に第4回臨時議会を開催し、7月31日に退任する後小路一雄副市長の後任に榎本義憲議員を選任する人事案に同意しました。任期は8月1日から4年間です。

榎本議員は、元市職員で環境対策室長や税務課長補佐などを務め、退職後、平成20年の市議選で初当選。文教厚生委員長や予算決算委員長、監査委員（議会選出）を歴任し、現在2期目だった。

また、後小路副市長は、釜井前市長時代の平成20年に副市長に就任。現在2期目で任期は12月までだったが、辞職願を提出し受理された。



副市長に選任された榎本義憲議員



退任のあいさつ前、磯永議長（左）より花束を受け取る後小路副市長（右）

● 議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

全国市議会議長会表彰

宮田精一議員（議員15年表彰）、爪丸裕和議員（議員15年表彰）が、6月17日に東京で開催されました第91回全国市議会議長会定期総会におきまして、市政の発展に尽くされた功績が認められ、表彰されました。



宮田精一議員
（15年表彰）

爪丸裕和議員
（15年表彰）

編集後記



豊前市の市制施行60周年記念事業は、アリヨリ元ハワイ州知事を迎え、5月に盛大に行われました。

市では昭和の時代の賑わいを取り戻し、新しい時代に合ったまちづくりを目指そうと、各種イベントを行ってきました。花火のように威勢よく、見た目は良いのですが効果が現れません。

「地方消滅」の衝撃的なデータによると、2万6000人の人口が2040年には1万8000人にまで減少する。

この現実的なデータを前に、市議会は知恵をしぼり、行政に提案を続けます。

日本一安心安全な街、豊かな山があり、実り豊かな田園風景、広がる青い海、豊前市をこよなく愛し、豊かに暮らすことを祈り続けます。

鈴木 正博

次回の定例会は
9月です

● 編集 編集委員会
委員長 尾澤満治
副委員長 安江千賀夫
委員 黒江哲文
印刷 築上印刷有限公司
平田精一
鈴木正博